

経営比較分析表（平成28年度決算）

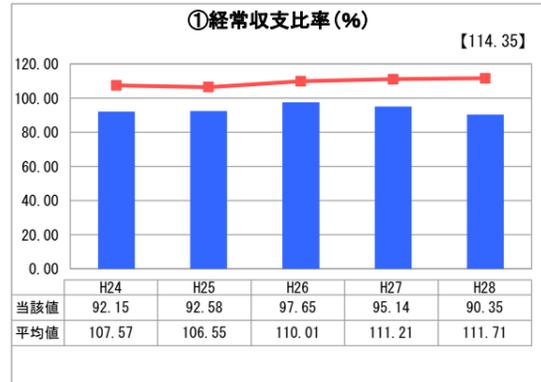
埼玉県 川島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	75.37	99.94	1,931	

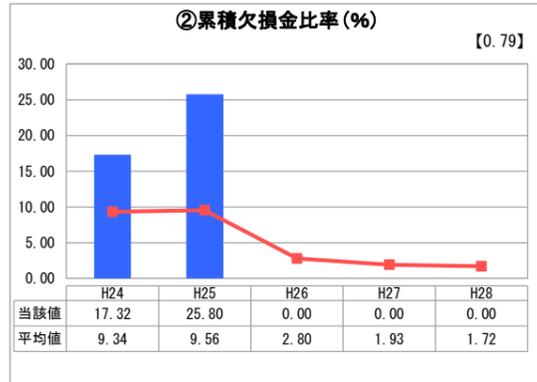
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
20,744	41.63	498.29
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
20,645	41.72	494.85

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	平成28年度全国平均

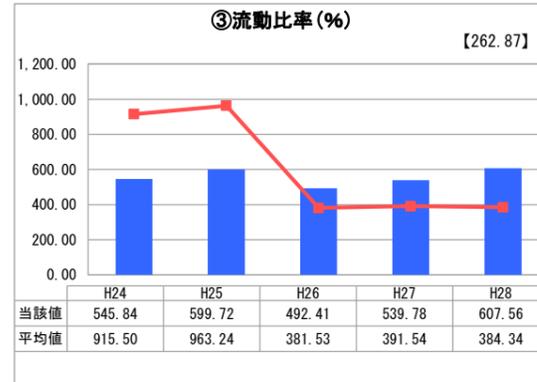
1. 経営の健全性・効率性



「経常損益」



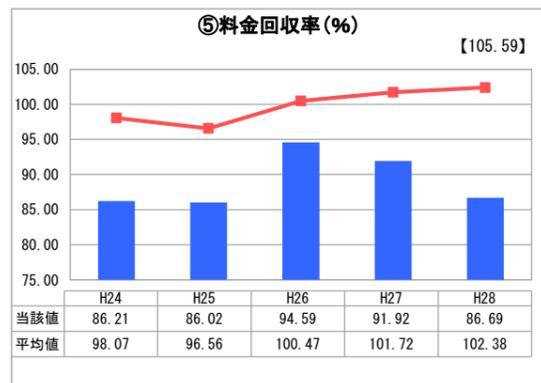
「累積欠損」



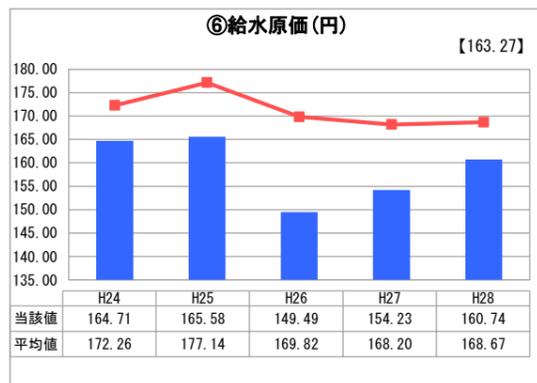
「支払能力」



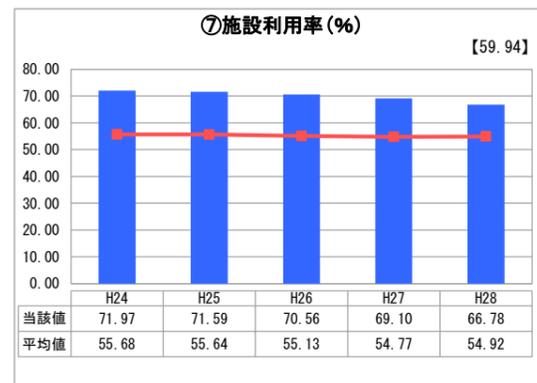
「債務残高」



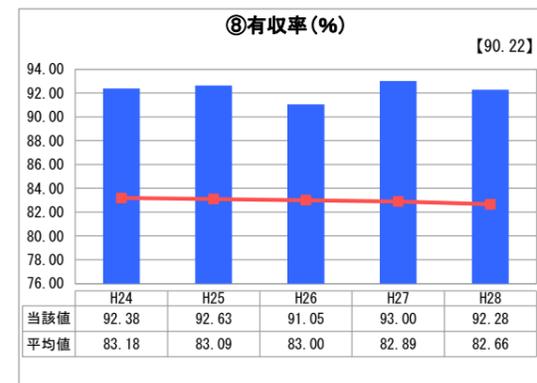
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

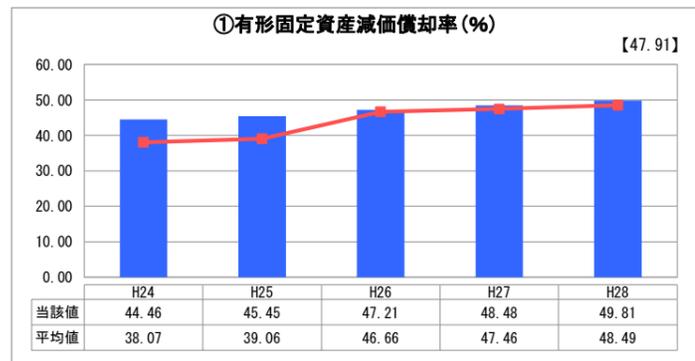


「施設の効率性」

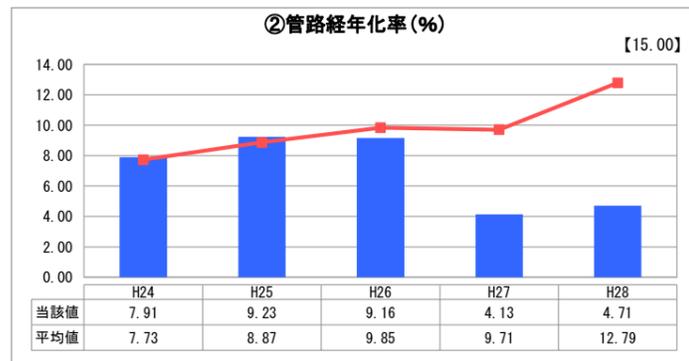


「供給した配水量の効率性」

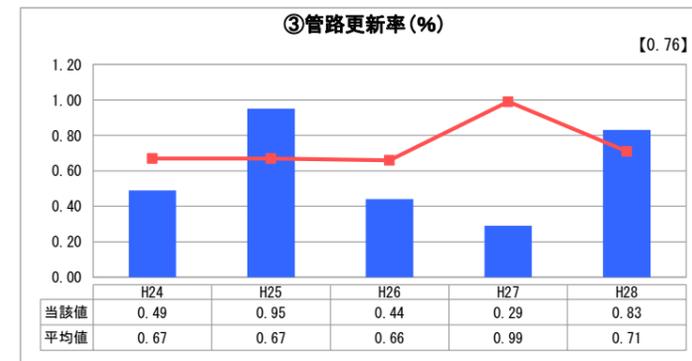
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率では、複数年にわたり100%を下回っています。過去に行った浄水場施設の更新などに伴う、減価償却費の増加などによるものです。
- ② 累積欠損金比率において、平成26年度以降の損失は、同年度の会計基準改正に基づき発生した未処分利益剰余金変動額（利益剰余金の過去分）と相殺されています。
- ③ 流動比率では、1年先までの支払や返済額に対し、現金預金の残高などは問題ないことを示しています。
- ④ 企業債残高対給水収益比率について、平均に比べよい値であることを示しています。過去5年間に、企業債を借入して行う大規模な工事の機会が減少しているためです。
- ⑤ 料金回収率は100%を下回っており、①の費用が収益を上回る状態を反映した内容となっています。
- ⑥ 給水原価は、水道料金が全国平均より安価に設定されていることを示しています。
- ⑦ 施設利用率は平均より高い値にあり、施設の稼働状況は比較的良好といえます。
- ⑧ 有収率は平均に比べ高い値ですが、前年度より低下しています。漏水調査と修繕を行い、改善するよう努力していきます。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は平均より大きく、古い設備の割合が高めであることを示しています。
- ② 管路経年化率は低い値ですので、耐用年数を上回る配水管の割合は平均に比べ小さいといえます。
- ③ 管路更新率は前年度までの値に比べ高くなっています。今後は耐震化を目的とした更新工事などを予定しており、高くなっていくものと推察されます。

全体総括

経営については、漏水発生防止により有収率向上を目指し、費用の「ムダ」を減らすよう努力していきます。

浄水場設備については、老朽化による故障の危険性が増すことから、設置年数や稼働状況、重要度を考慮し、更新を進めます。配水管についても、耐震化なども目的として、更新を行います。しかし、更新工事の財源に借入した企業債が、後年になり経営を圧迫する場合もあるため、総合的・長期的な視野で計画をたて、みなさまが将来にわたり安心して水道をお使いになれるよう、努力いたします。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。